

# 【2022 菅公カップ第49回島根県ミニバスケットボール大会】

## 開 催 要 項

1. 主催 (一財) 島根県バスケットボール協会
2. 共催 山陰菅公学生服 株式会社
3. 主管 (一財) 島根県バスケットボール協会U-12部会
4. 後援 島根県教育委員会 公益財団法人島根県スポーツ協会 山陰中央新報社
5. 期日
  - ・ファーストラウンド  
期日は10月とし、各地区の指定された日時
  - ・セカンドラウンド  
令和4年 12月 3日(土)・ 12月 4日(日)
6. 会場
  - ・ファーストラウンド  
各地区の指定された会場
  - ・セカンドラウンド  
県立浜山体育館 (カミアリーナ)
7. 出場資格
  - ・JBAへ登録し、大会への参加意思を示したチーム。
  - ・選手はJBAへ登録し、ファーストラウンドとセカンドラウンドは同一チームで参加すること。  
※ファーストラウンドは、東部、中部、西部、隠岐の各4地区で大会を行い上位チームがセカンドラウンドに出場できる。
  - ※各地区のセカンドラウンドへの出場枠は登録チーム数や地域性を考慮して下記の通り設定する。
  - ※西部地区の出場枠は当初2チームとしていたが、西部地区ファーストラウンドの事案により3チームとする。
    - ・隠岐地区・・・男子/1チーム(登録数3)：女子/1チーム(登録数1)
    - ・東部地区・・・男子/6チーム(登録数18)：女子/6チーム(登録数17)
    - ・中部地区・・・男子/5チーム(登録数17)：女子/7チーム(登録数19)
    - ・西部地区・・・男子/4チーム(登録数11)：女子/3チーム(登録数7)
8. 競技規則
  - ・2022バスケットボール競技規則(Official Basketball Rules2022)による。ただし、ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点を採用する。
  - ・セカンドラウンドの交流戦では、オーバータイムを行わない。
  - ・マンツーマン基準規則による。全試合にマンツーマンコミッショナーを置く。

※コミッショナーは指導者ライセンス（ID）を保有した者に限る。

- ・ベンチ構成は、ヘッドコーチ1名、アシスタントコーチ1名以上2名以内、マネージャー1名以内、プレイヤーは8名以上15名以内の計19名以内とする。（ヘッドコーチ、アシスタントコーチは小学生不可）

## 9. 競技方法

- ・ファーストラウンドは、各地区の競技方法に従うこと。
- ・セカンドラウンドはトーナメント戦とする。

## 10. 参加料等

- ・ファーストラウンドに出場するチームは、令和4年9月30日（金）までにチームJBAより参加申し込みと併せ、エントリー料10,000円の支払いを完了すること。
- ・セカンドラウンドに出場するチームは、令和4年11月12日（土）までにチームJBAより参加申し込みと併せ、参加料15,000円の支払いを完了すること。

## 11. 開閉会式

開閉会式は、行わない。

## 12. その他

- ・試合に関わる全ての関係者が「クリーンバスケット・クリーンザゲーム」の実現に向けて、努力すること。
- ・ベンチで指揮を執るコーチは、JBA公認コーチE-1以上のライセンスを保有していること。なおベンチで指揮を執るコーチは、試合中JBA公認コーチ登録証（E-1以上）を首から下げていること。
- ・参加にあたり、事務局より送付の関係文書を確認のうえ、当日の運営等、大会本部の指示を守ること。
- ・参加する選手は傷害保険に加入のうえ、参加すること。当日は応急手当以外責任を負わない。
- ・TOには必ずチームの指導者もしくは、ルールを理解している者がついて指導すること。（TOの割り当ては、後日配信する）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、JBAによる「新型コロナウイルス感染症に関するバスケットボール活動再開ガイドライン」及び「(一財)島根県バスケットボール協会U12事業（競技会）における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策マニュアル」に準じて対策を講じる。参加チームはそれに従うこと。